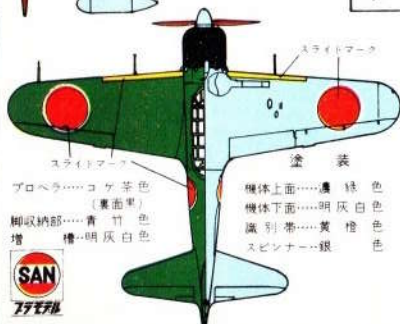
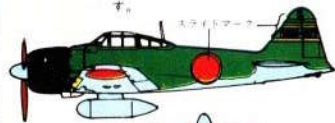


海軍零式艦上戦闘機

昭和15年制式採用。第2次大戦の間戦から終戦までの全期間を通じて、全戦域で主力戦闘機として活躍した日本海軍の艦上戦闘機。そのすぐれた性能と優秀なパイロットの技術は大戦中期までは、「ゼロファイター」として連合軍側を恐れさせた。また後期は特攻機として多く連合軍艦艇に突入し、世界に高い日本の名機。各種改造型があり総生産数11,025機と日本で最多量産記録をうちたてた。

52型
全巾 11.00m 全長 9.12m 全高 3.51m
全備重量 2,733kg

2 図 ②スライド・マークをはったり、マルサン・プラカラーで塗装すると美しいモデルが出来ります。



プロペラ……コケ 辛色
柳収納部……青 竹 色
増 槽……明 灰 白 色

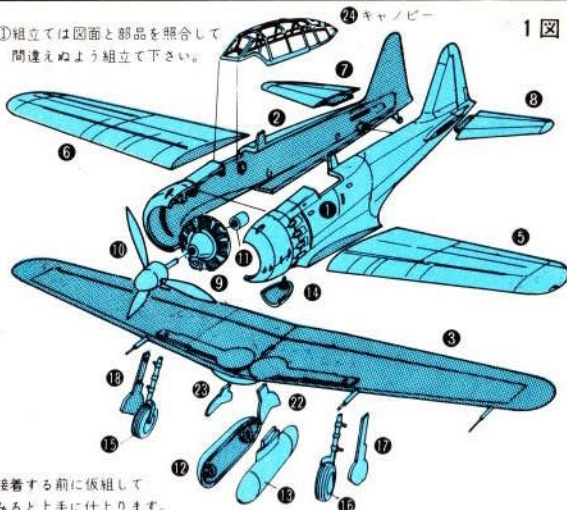
機体上面……濃 緑 色
機体下面……明 灰 白 色
識別帯……黄 橙 色
スピナー……銀 色



KK マルサン

東京都台東区上野桜木1-12-2 ☎110 TEL.03(823)3903大代表

①組立ては図面と部品を照合して間違えぬよう組立て下さい。



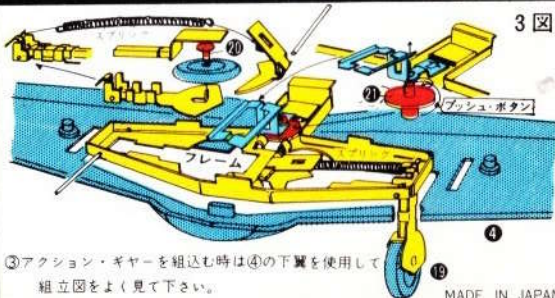
接着する前に仮組して
みると上手に仕上がります。

1 図

- 部 品 番 号
- ①胴 体(左)
 - ②胴 体(右)
 - ③主 翼(下)
 - ④主 翼
 - (アクション用・下)
 - ⑤主 翼(左上)
 - ⑥主 翼(右上)
 - ⑦水平尾翼(右)
 - ⑧水平尾翼(左)
 - ⑨エンジン
 - ⑩プロペラ
 - ⑪ストッパー
 - ⑫増 槽(右)
 - ⑬増 槽(左)
 - ⑭空気取入口
 - ⑮脚(右)
 - ⑯脚(左)
 - ⑰脚カバー(左)
 - ⑱脚カバー(右)
 - ⑲車輪 アクション・
 - ⑳車輪ハブ アクション・
 - ㉑プッシュボタン
 - ㉒脚カバー(1)(左)
 - ㉓脚カバー(1)(右)
 - ㉔キャンビー

アクション・キヤー組立図

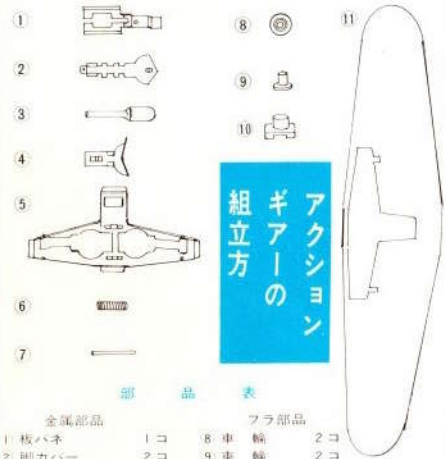
脚のとび出す美しいアクションです



③アクション・ギヤーを組込む時は④の下翼を使用して組立図をよく見て下さい。

MADE IN JAPAN

アクション ギアの 組立方



金属部品		プラ部品	
1 板バネ	1コ	8 車輪	2コ
2 脚カバー	2コ	9 車輪	2コ
3 脚柱	2コ	10 押しボタン	1コ
4 翼カバー	2コ	11 下面翼	1コ
5 フレーム(枠)	1コ		
6 スプリング	2コ		
7 シャフト	4本		

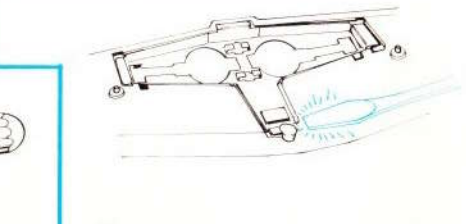
組立
① コイルスプリングの引掛を作る
カッターナイフ又は安全カミソ
リの替刃でA図のように外側
に開き両端がB図のように仕上
げる。



② 脚カバーにシャフトを
さし込みD図のように
する。

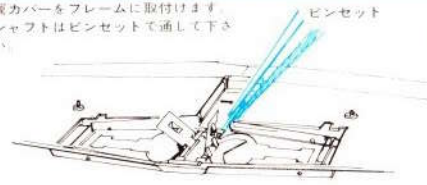


③ E図のように脚カバーに
車輪をおき車軸を押し込
み脚柱を押し込み、脚カ
バーの凸部を曲げて固定し、
シャフトを通しF図のよ
うにします。

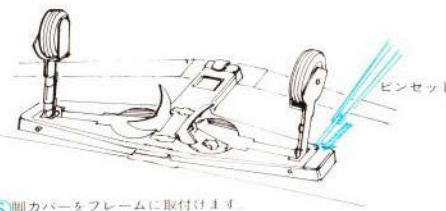


④ 下面翼にフレーム(枠)を取付け、翼の凸部を
図のように挟いたドライバーの頭でつ押し固
定します。

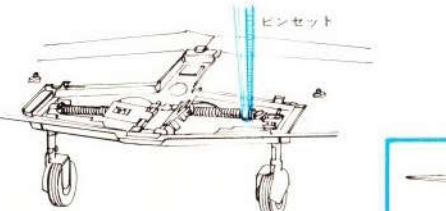
⑤ 翼カバーをフレームに取付けます。
シャフトはピンセットを通して下さ
い。



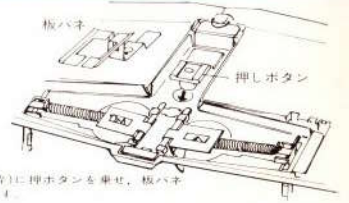
⑥ 脚カバーをフレームに取付けます。



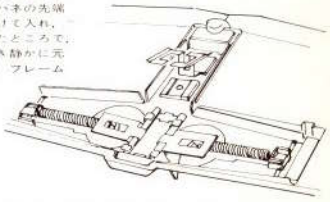
⑦ 脚カバーと翼カバーとをスプリングで結びます。ピン
セットでスプリングをはさみ図のように翼カバーのツ
メにかけ、反対側の脚カバーのツメにかけて結びませ
が、スプリングをとばさぬように注意してください。



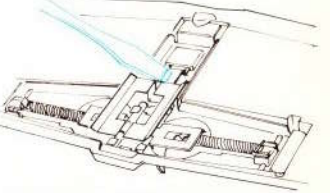
⑧ フレーム(枠)に押しボタンを乗せ、板バネ
を取付けます。



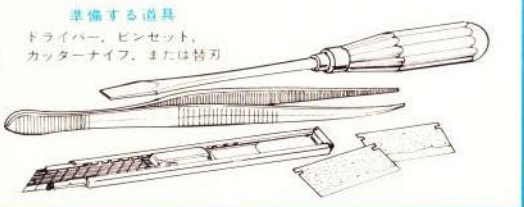
⑨ 板バネの取付けは先づ図
のように、板バネの先端
をやや奥に向けて入れ、
たいへんになったところで、
手前に少し引戻すか完全に元
へ押しがえし、フレーム
の凸部部にさ
しこみます。



⑩ 板バネの取
付部をピン
セットで手
ライパーで
直差し板バ
ネが左右に
いくつかな
る。



⑪ これで部品の組立は完成ですが、
調子を見てから本体に接着します。





零戦52型